

# I 区がめざす将来像と現在の姿

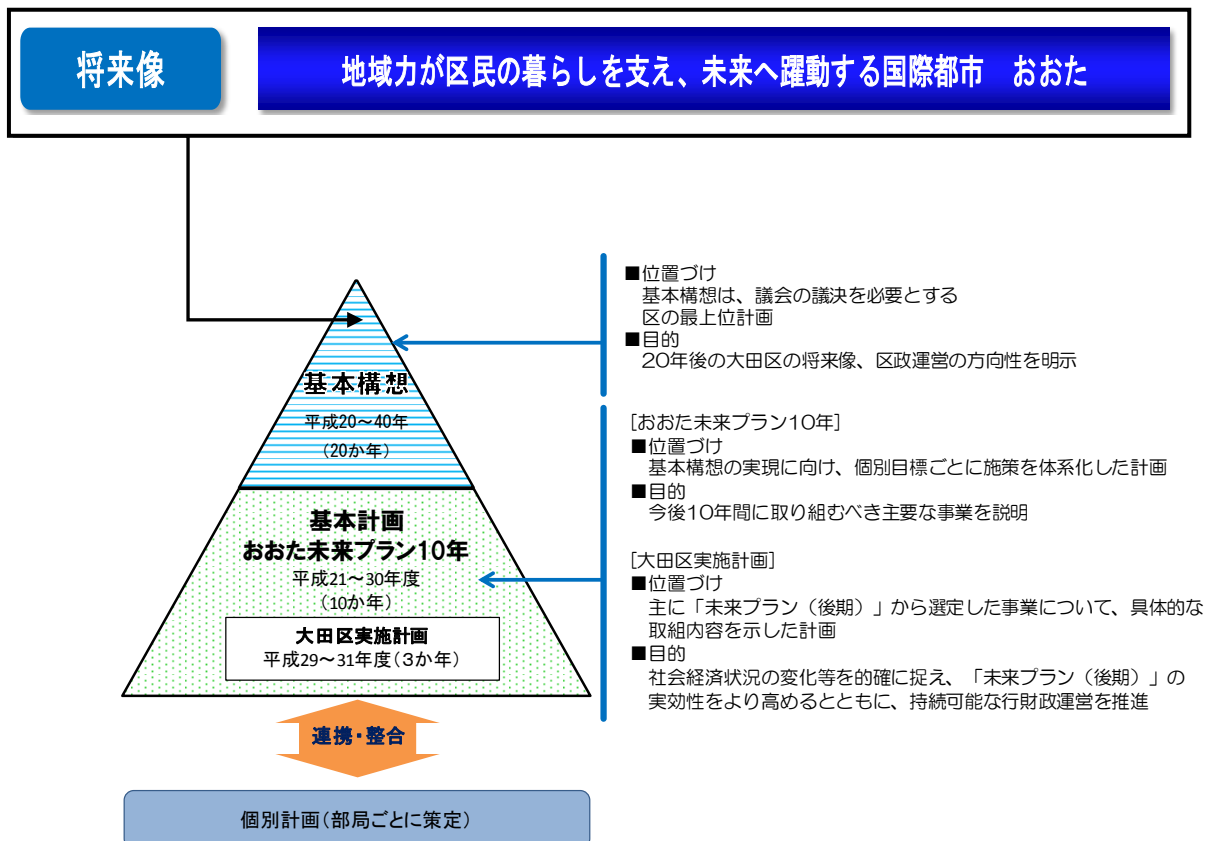
## 1 大田区基本構想・おおた未来プラン 10年

大田区基本構想（以下、「基本構想」という。）は、平成20年10月に区の最上位計画として区議会で議決されました。「基本構想」では、20年後のあるべき姿である将来像を「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」とし、区が行う全ての事業は、この将来像の実現に向け実施しています。

「基本構想」の議決を受け、区は、基本計画である「おおた未来プラン10年（後期）」（以下、「未来プラン（後期）」という。）を平成26年3月に策定し、さらに「未来プラン（後期）」策定後に生じた社会経済状況の変化等に的確に対応するとともに、将来に向けて持続可能な行財政運営を行うため、平成29年3月に「大田区実施計画」を策定しました。

「未来プラン（後期）」に掲げる主な事業は、将来像を実現するために着実に推進しなければならないものであり、区は毎年その進捗状況を公表しています。また、「大田区実施計画」の推進にあたっては、社会経済状況の変化等を踏まえた検証・見直しを毎年度行い、この結果を予算と連動させ、常に計画の最適化を図ります。

### （1）大田区の将来像及び行政計画の体系



## (2) 「地域力・国際都市 おおた」をめざして

区は、「基本構想」に掲げる将来像の実現に向けて2つのキーワードを区政推進の理念としています。1つが区民一人ひとりの力を源とする「地域力」であり、複雑多様化する地域課題に区と地域が連携して取り組むことで、誰もが暮らしやすいまちづくりを目標としています。もう1つが「国際都市」です。国際空港である羽田空港を擁する立地を最大限に活かし、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会も見据えながら世界の都市と人々をつなぐことで、さらなる賑わい創出をめざします。



### (3) 「地域力・国際都市 おおた」の現在地

#### ○施策の達成度を測るモノサシ（指標）について

おおた未来プラン 10年（後期）には、大田区基本構想で示している3つの基本目標及び9つの個別目標に基づく、36の施策があります。それぞれの施策では「めざす姿」を示しており、そのめざす姿にどれだけ近づいたかを測る目安として、モノサシ（指標）を設定しています。各施策におけるモノサシ（指標）及びその最新値は以下のとおりです。

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン（後期）策定時（25年度）	平成28年度最新値	30年度目標値
1-1-1 安心して子どもを産めるまちをつくりま	1	妊娠11週以内に妊娠届出をした割合（%）	86.8% (平成20年度)	91.5% (平成23年度)	93.1% (平成27年度)	100%
	2	すこやか赤ちゃん訪問事業の実施率（%）	61.5% (平成19年度) (新生児訪問事業)	95.6% (平成24年度)	96.7% (平成27年度)	100%
1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくりま	3	保育所入所率（%）	96.9% (平成21.4.1) 保育サービス定員 9,553人 (平成21.4.1)	96.3% (平成25.4.1) 保育サービス定員 11,322人 (平成25.4.1)	98.3% (平成28.4.1) 保育サービス定員 13,436人 (平成28.4.1)	100%
	4	ファミリーサポート延べ利用者数（人）	10,283人 (平成19年度)	10,819人 (平成24年度)	12,218人 (平成27年度)	12,200人
	5	子育て環境に対する満足度（%）	—	43% (平成25年度)	28年度未調査	50%
1-1-3 未来を担う子どもたちを育てま	6	大田区学習効果測定【中3数学・期待正答率を超えた生徒の割合】（%）	58.3% (平成20年度)	60.6% (平成25年度)	63.5% (平成28年度)	62.0%
	7	不登校生徒出現率【中学校】（%）	3.73% (平成19年度)	3.05% (平成24年度)	3.58% (平成27年度)	2.88%
	8	体力合計点【小6男女】（点）	男子60.62点 女子60.30点 (参考：平成23年度)	男子60.21点 女子60.15点 (平成25年度)	男子 59.76点 女子 60.82点 (平成28年度)	男子61.01点 女子61.59点
1-1-4 のびのびと成長する子どもを見守りま	9	児童館等ファミリールーム利用者数（人）	431,000人 (平成19年度)	455,569人 (平成24年度)	662,049人 (平成27年度)	463,000人
	10	子ども家庭支援センターの相談件数（件）	4,290件 (平成20年度)	4,628件 (平成24年度)	10,205件 (平成27年度)	4,900件
1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくりま	11	65歳健康寿命（歳）	男性 81.72歳 女性 84.84歳 (平成20年)	男性 81.68歳 女性 85.04歳 (平成23年)	男性 81.94歳 女性 85.36歳 (平成26年)	男性 82.26歳 女性 85.36歳
	12	特定健康診査受診率（%）	30% (平成20年度)	37% (平成24年度)	38% (平成27年度)	44%
1-2-2 ユニバーサルデザインのまちづくりを進めま	13	「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っている、または聞いたことがあると答えた区民の割合（%）	—	76.6% (平成24年度)	78.0% (平成28年度)	80%
	14	だれでもトイレの設置割合（%）	64.9% (平成20年度)	82.4% (平成25年度)	82.7% (平成28年度)	95.9%

施策	No.	モニサシ（指標）	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン（後期）策定時（25年度）	平成28年度最新値	30年度目標値
1-2-3 障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくりま	15	障害福祉サービス等利用者の満足度（%）	60% （平成20年度）	58% （平成25年度）	61.8% （平成28年度）	75%
	16	就労支援ネットワークからの年間就職者数（人）	50人 （平成20年度）	54人 （平成24年度）	109人 （平成27年度）	90人
1-2-4 生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくりま	17	区民1人あたりの図書館の貸出点数（点）	6.4点 （平成20年度）	8.0点 （平成24年度）	8.1点 （平成27年度）	10.4点
1-2-5 スポーツ健康都市宣言にふさわしい、スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまちをつくりま	18	週1回以上スポーツ活動をしている区民の割合（%）	36.6% （平成20年度）	41.2% （平成25年度）	39.9% （平成28年度）	65%
1-2-6 安定した暮らしと人権を守ります	19	職場における男女の地位が平等であると答えた区民の割合（%）	男性16.7% 女性10.0% （平成16年度）	男性25.2% 女性16.9% （平成24年度）	男性35.7% 女性30.8% （平成28年度）	男性32% 女性22%
1-3-1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくりま	20	ボランティアなど地域や地域の人を支える活動に参加している高齢者の割合（%）	12.2% （平成20年度）	10.3% （平成24年度）	29年度調査予定	15%
	21	何らかの収入を得る仕事をしている高齢者の割合（%）	39.1% （平成20年度）	39.1% （平成24年度）	29年度調査予定	45%
	22	要介護認定を受けていない高齢者（65歳以上75歳未満）の割合（%）	95.79% （平成20年度）	95.35% （平成24年度）	95.03% （平成28年12月末）	95.70%
1-3-2 高齢者が地域で包括的なケアを受け、安心して暮らせるまちをつくりま	23	居宅サービス利用者のうちケアプランに満足している人の割合（%）	65.9% （平成19年度）	70.0% （平成25年度）	67.0% （平成28年度）	75%
	24	介護保険施設等の入所定員数（人）	2,160人 （平成21.4.1）	2,646人 （平成26.2.1）	3,032人 （平成29.2.1）	3,300人
	25	地域包括支援センター（さわやかサポート）を知っている区民の割合（%）	19.1% （平成20年度）	29.1% （平成24年度）	29.3% （平成28年度）	40%
1-3-3 いざというときに高齢者を支える体制をつくりま	26	成年後見制度を知っている区民の割合（%）	—	27.4% （平成24年度）	32.9% （平成28年度）	36%
	27	要配慮者を支援する組織が設置されている自治会・町会の割合（%）	39% （平成20年度）	44% （平成25年度）	49.3% （平成29年2月末）	50%

基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

施策	No.	モニサシ（指標）	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン（後期）策定時（25年度）	平成28年度最新値	30年度目標値
2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくりま	28	住んでいるまちが魅力的であると感じる区民の割合（%）	—	58.5% （平成25年度）	66.5% （平成28年度）	64%
	29	区内人口の社会増減率（%）（平成20年1月1日基準）	0%	8.66% （平成25.1.1）	29.86% （平成28.1.1）	18%
2-1-2 快適な交通ネットワークをつくりま	30	区内の通勤・通学の便に満足している区民の割合（%）	76.7% （平成20年度）	75.7% （平成24年度）	75.8% （平成28年度）	80%
	31	放置自転車台数（台）	2,552台 （平成19年度）	2,436台 （平成24年度）	1,567台 （平成27年度）	2,280台

施策	No.	モニサシ (指標)	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン (後期) 策定時 (25年度)	平成28年度最新値	30年度目標値
2-1-3 潤いやすらぎのあるまちをつくりま す	32	身近な場所で水や緑に親しめると思う区民の割合 (%)	—	53.8% (平成24年度)	51.2% (平成28年度)	60%
	33	公園の新設、拡張整備面積累計 (ha)	0ha (平成20年度)	8.16ha (平成25年度)	8.35ha (平成28年度)	13.2ha
2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつ くりま す	34	東京都防災都市づくり推進計画の整備地域に おける不燃領域率 (%)	大森中地域 52% 羽田地域 — 西蒲田地域 52% (平成16年度)	大森中地域 64% 羽田地域 45% 西蒲田地域 60% (平成22年度)	大森中地域 66% 羽田地域 51% 西蒲田地域 67% (平成26年度)	大森中地域70%超 羽田地域60%超 西蒲田地域70%超
	35	大田区内の耐震化率 (%)	75.6% (平成18年度)	79.2% (平成21年度)	28年度未調査	90%超
	36	駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じる区民の 割合 (%)	—	32.3% (平成25年度)	43.2% (平成28年度)	40%
2-2-1 世界へ羽ばたくま ちをつくりま す	37	羽田空港及び空港跡地が、地域経済の発展に 貢献すると感じる区民の割合 (%)	—	49% (平成25年度)	51.2% (平成28年度)	55%
	38	羽田空港跡地第1ゾーンの整備進捗率 (%)	—	20% (平成25年度)	40% (平成28年度)	80%
2-2-2 未来につながる 空港臨海部をつ くりま す	39	臨海部 (平和島・昭和島・京浜島・東海・城南 島・羽田空港) に立地する事業所数 (社)	1,622社 (平成16年) 参考数値※	2,154社 (平成23年)  1,886社 (平成18年) 参考数値※	2,299社 (平成26年)	2,300社
	40	空港臨海部が身近になったと感じる区民の割合 (%)	—	35% (平成24年度)	28.8% (平成28年度)	40%
2-2-3 国際都市として 交流を育みます	41	国際交流団体の登録数 (団体)	30団体 (平成21年度)	45団体 (平成24年度)	56団体 (平成29年2月末)	78団体
	42	大田区の外国人延べ宿泊者数 (人)	7.7万人 (平成21年度)	7.5万人 (平成24年度)	30.6万人 (平成27年度)	33万人
2-3-1 ものづくり産業を 育み、世界に発 信します	43	製造品出荷額等 (億円)	7,829億円 (平成19年)	4,796億円 (平成24年)	4,110億円 (平成26年)	5,000億円
	44	新製品・新技術開発助成 (実用化・製品化助 成) を受けた企業のうち、展示会出展または取 引につながった企業の割合 (%)	—	66.6% (平成23年度)	75.0% (平成28年度)	100%
2-3-2 くらしを支えるあ まなを熱く盛り 上げます	45	区内小売業の年間商品販売額 (億円)	—	5,003億円 (平成23年)	5,831億円 (平成26年)	5,230億円
2-3-3 ビジネスがしやす いまち大田区を つくりま す	46	大田区内の従業者数 (人)	—	334,046人 (平成23年)	359,410人 (平成26年)	361,000人
	47	新設事業所数 (累計) (事業所)	578事業所 (平成21年)	1,764事業所 (平成23年)	3,949事業所 (平成26年)	6,180事業所

※参考数値は、「事業所・企業統計調査」の数値です。平成23年度数値は経済センサス調査の数値です。事業所・企業統計調査は、平成21年から経済センサス調査に統合されました。その調査対象は同じですが、調査手法が異なっており、同一のデータとして単純に比較することができないため、経済センサス調査のデータを新たな指標とします。



施策	No.	モノサシ (指標)	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン (後期) 策定時 (25年度)	平成28年度最新値	30年度目標値
2-3-4 大田区の観光を世界に発信します	48	【変更前】 大田観光協会ホームページの年間アクセス数 (万件) 【リクエスト数】	430万件	619.6万件 (平成24年度)	894.1万件 (平成29年2月末)	885万件
	48	【変更後】 大田観光協会ホームページの年間アクセス数 (万件) 【ページビュー数】	—	74万件 (平成24年度)	128.1万件 (平成29年2月末)	180万件
	49	区内宿泊施設の宿泊者数 (人) 上段：延べ宿泊者数 下段：そのうち外国人	109.5万人 7.7万人 (平成21年度)	115.9万人 7.5万人 (平成24年度)	145万人 30.6万人 (平成27年度)	130万人 15万人

※アクセス数として、これまでWebアクセスに関する統計値のうち「リクエスト数」を計測していましたが、平成28年度からはサイトへの訪問者数をより正確に把握できる「ページビュー数」を計測します。  
【リクエスト数】あるWebページにアクセスした場合に、ページ上に含まれるすべてのファイルも1件ずつ閲覧したものとカウントしたものと。  
【ページビュー数】あるWebページにアクセスした場合に、ページ上に含まれるファイルの数によらずWebページ単体での閲覧数を1件とカウントしたものと。

基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

施策	No.	モノサシ (指標)	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン (後期) 策定時 (25年度)	平成28年度最新値	30年度目標値
3-1-1 地域力の土台づくりを進めます	50	「自治会・町会の会合など地域活動に参加したことがある」と答えた区民の割合 (%)	—	72.3% (平成24年度)	67.5% (平成28年度)	75%
	51	大田区区民活動情報サイト登録数 (団体)	535団体 (平成19年度) 参考数値※	426団体 (平成24年度)	618団体 (平成29年2月末)	590団体
	52	大田区区民活動情報サイトへのアクセス件数 (件)	—	24,389件 (平成24年度)	42,696件 (平成29年2月末)	36,580件
3-1-2 地域力を活かした取り組みを進めます	53	自治会・町会や団体・NPOが、区の取り組みにより他の団体等と連携して実施した事業数 (事業)	—	93事業 (平成24年度)	139事業 (平成29年2月末)	150事業
	54	自治会・町会への加入率 (%)	75.4% (平成20年度)	74.6% (平成25年度)	68.5% (平成28年度)	76%
3-1-3 誰もが暮らしやすい地域をつくります	55	ボランティア活動に参加している区民の割合 (%)	8.9% (平成18年度)	9.1% (平成24年度)	28年度未調査	10%
	56	現在住んでいるまちが「暮らしやすいと感じている」と回答した区民の割合 (%)	76.8% (平成19年度)	81.9% (平成25年度)	80.3% (平成28年度)	87%
3-1-4 地域文化の創造とふれあいづくりを進めます	57	大田区の主な文化関連施設の利用・入館者数 (延べ、万人)	144万人 (平成19年度)	162万人 (平成24年度)	155万人 (平成27年度)	174万人
	58	大田区文化祭、文化センターまつり、区民ギャラリーに出場・出品した人数 (延べ、人)	3,203人 (平成20年度)	12,657人 (平成25年10月)	16,567人 (平成29年2月末)	13,600人
3-1-5 地域力を活かし、災害に強いまちづくりを進めます	59	防災市民組織が設置されている自治会・町会の割合 (%)	97.6% (平成20年度)	98.6% (平成25年度)	99% (平成28年度)	100%
	60	学校防災活動拠点校整備数 (校)	—	20校 (平成25年度)	78校 (平成28年度)	91校
3-1-6 地域力を活かし、防犯に強いまちづくりを進めます	61	地域安全・安心パトロール助成団体数 (団体)	226団体 (平成20年度)	270団体 (平成25年度)	283団体 (平成29年2月末)	315団体
	62	街頭防犯カメラ整備数 (地区、台)	—	13地区 190台 (平成24年度)	27地区 436台 (平成27年度)	30地区 600台
	63	区民安全・安心メール登録者数 (人)	30,499人 (平成21年度)	50,018人 (平成25年度)	61,914人 (平成29.3.1)	60,000人

※参考数値は、大田区区民活動情報サイトを開設する前の大田区区民活動団体データベース登録数 (団体) です。

※平成18年度は世論調査、平成24年度は大田区地域福祉計画実態調査によるものです。

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン（後期）策定時（25年度）	平成28年度最新値	30年度目標値
3-2-1 地球環境をみんなで守り未来へ引き継ぎます	64	大田区の二酸化炭素排出量（千t/年） 〔基準年・平成2年度2,869千t/年〕	3,172千t/年 （平成20年度） 〔平成2年度比+10.6%〕	2,935千t/年 （平成22年度） 〔平成2年度比+2.3%〕	3,307千t/年 （平成25年度） 〔平成2年度比+15.3%〕	2,322千t/年 〔平成2年度比-19.1%〕
	65	大田区のエネルギー消費量（TJ/年） 〔基準年・平成2年度37,208TJ/年〕	37,506TJ/年 （平成20年度） 〔平成2年度比+0.8%〕	36,060TJ/年 （平成22年度） 〔平成2年度比-3.1%〕	33,171TJ/年 （平成25年度） 〔平成2年度比-10.9%〕	31,799TJ/年 〔平成2年度比-14.5%〕
	66	太陽光発電設置実績件数（件）	249件 （平成6～16年度）	1,837件 （平成24年度）	2,640件 （平成27年度）	3,000件
3-2-2 水と緑を感じるまちをつくります	67	「緑の多さに満足している」と答えた区民の割合（%）	54.4% （平成20年度）	57.5% （平成24年度）	59.5% （平成28年度）	63%
	68	緑被率（%）	20.3% （平成9年度）	20.47% （平成21年度）	28年度未調査	20.9%
	69	呑川のBOD（生物化学的酸素要求量）（mg/L）	島畑橋 1.1mg/L 谷築橋 1.3mg/L 旭橋 1.3mg/L （平成20年度）	島畑橋 1.2mg/L 谷築橋 1.5mg/L 旭橋 2.7mg/L （平成24年度）	島畑橋 0.9mg/L 谷築橋 1.8mg/L 旭橋 1.3mg/L （平成27年度）	環境基準 8mg/L以下
3-2-3 ごみのない循環のまちをつくります	70	区収集ごみ量（千t）〔清掃事業が区に移管された平成12年度を基準年度：174,748t〕	15万4千t （平成19年度）	14万t （平成24年度）	13.5万t （平成27年度）	12万2千t 〔平成12年度比-30%〕
	71	リサイクル率（%）	18.5% （平成19年度）	19.5% （平成24年度）	21.5% （平成27年度）	30%
3-3-1 行政力を最大限に発揮できる体制をつくります	72	基本計画で設定したモノサシ（指標）の目標に到達した割合（%）	—	36% （51%） （平成25年度） 参考数値※	27% （平成28年度）	100%
	※参考数値は前期未来プランに設定されていたモノサシ（指標）を用いた数値であり、項目内容、対象数ともに異なる条件のもと算出しています。 なお、（ ）内は、平成25年度の目標値と、未来プラン策定時の「現状」を比較し、最新値が8割を達成しているモノサシ指標の割合です。					
	73	経常収支比率（%）	75% （平成20年度）	85.8% （平成24年度）	79.7% （平成27年度）	80%台
3-3-2 透明性が高く、区民の多様な意見を活かす区役所をつくります	74	「区政情報が適切に公開されている」と答えた区民の割合（%）	—	29% （平成24年度）	33.5% （平成28年度）	46%
3-3-3 地域力を支える区役所をつくります	75	地域活動にインターネットを利用している自治会・町会の割合（%）	—	30.9% （平成25年12月）	22.9% （平成28年度）	50%
	76	地域力推進委員会分科会の開催回数（回）	55回 （参考：平成23年度）	78回 （平成24年度）	126回 （平成27年度）	125回

#### (4) おおた未来プラン 10年の基本目標別決算額

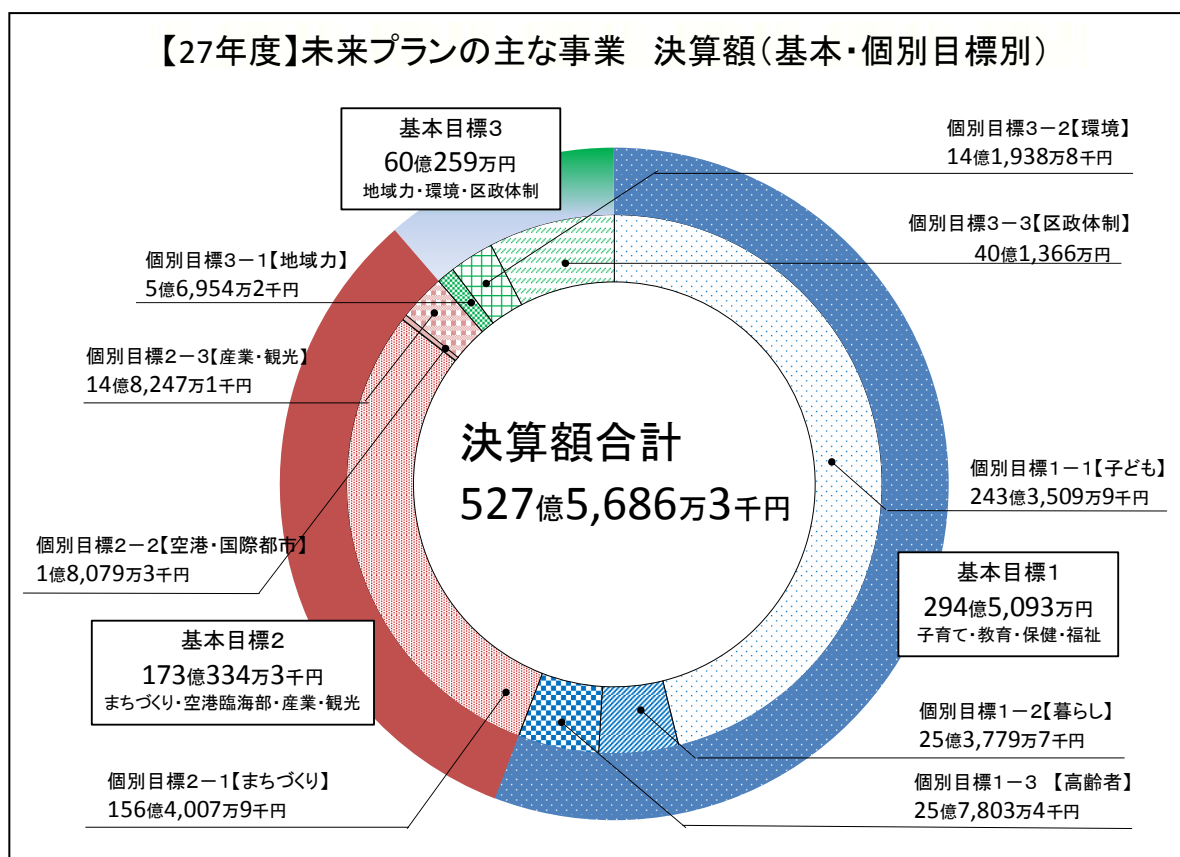
未来プラン（後期）は「子育て・教育・保健・福祉」領域、「まちづくり・空港臨海部・産業・観光」領域、「地域力・環境・区政体制」領域に区分し、それぞれの領域ごとに基本目標と個別目標を掲げ、将来像の実現をめざしています。

平成 27 年度の主な事業における決算額は、基本目標 1 『生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち』では、子ども医療費助成事業の推進に 28 億 8,144 万円、私立（認可）保育園の整備に 90 億 1,948 万円、区立保育園の運営・拠点機能強化に 36 億 847 万円などとなっています。

基本目標 2 『まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市』では、身近な地域の魅力づくりに 69 億 3,128 万円、都市計画道路の整備に 11 億 9,789 万円、拠点公園・緑地の整備に 12 億 146 万円などとなっています。

基本目標 3 『地域力と行政の連携が作る人と地球に優しいまち』では、地域防災活動の支援に 1 億 3,322 万円、徹底した分別によるリサイクルの推進に 12 億 5,288 万円、区政情報発信の充実に 2 億 1,132 万円などとなっています。

未来プラン事業の成果は、主要施策の成果※1 において公表しています。平成 27 年度は、主な事業における取り組みのうち、9 割を超える取り組みが計画どおり又は計画を上回って進捗しており、未来プランを着実に推進することができたと考えています。



【用語解説】主要施策の成果※1  
地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、毎年度主要な施策の事業内容と決算額を分野ごとに取りまとめ、「主要施策の成果」として公表しています。



## 2 大田区の人口

### (1) 大田区の人口増減

平成28年1月1日時点の人口は712,057人、前年から4,602人の増となっており、特別区の中で3番目に多くなっています。

人口構成では、年少人口（0歳から14歳）が11.17%、生産年齢人口（15歳から64歳）が66.22%、老年人口（65歳以上）が22.62%となっています。特別区合計と比較すると、老年人口の割合がわずかに高くなっていますが、全国合計と比較すると年少人口、老年人口の割合は低く、生産年齢人口の割合が高くなっています。

また、年齢3区分ごとの増減としては、年少人口、生産年齢人口に比べて老年人口の伸びが大きくなっています。

(単位：人)

		合計	年少人口 0歳から14歳	生産年齢人口 15歳から64歳	老年人口 65歳以上
大田区 (平成28年1月1日現在)	人数	712,057	79,514	471,497	161,046
	割合	100.00%	11.17%	66.22%	22.62%
大田区 (平成27年1月1日現在)	人数	707,455	79,170	470,232	158,053
	割合	100.00%	11.19%	66.47%	22.34%
増減	増減数	4,602	344	1,265	2,993
	増減率	0.65%	0.43%	0.27%	1.89%
特別区合計 (平成28年1月1日現在)	人数	9,205,712	1,040,844	6,177,060	1,987,808
	割合	100.00%	11.31%	67.10%	21.59%
全国合計 (平成28年1月1日現在)	人数	128,066,146	16,321,807	78,122,617	33,621,722
	割合	100.00%	12.74%	61.00%	26.25%

※住民基本台帳に基づく平成28年1月1日現在の人口にて比較。

※全国合計には、年齢不詳者を含んでいない。

### (2) 日本人・外国人内訳

大田区における外国人人口は20,204人であり、特別区のなかでは6番目に多い人数となっています。総人口に占める割合としては2.84%であり、特別区平均を下回る数値となっていますが、全国合計と比較すると多くの外国人が住んでいることとなります。

(単位：人)

		合計	日本人人口 A	外国人人口 B	外国人人口の 割合
大田区		712,057	691,853	20,204	2.84%
特別区合計		9,205,712	8,827,070	378,642	4.11%
全国合計		128,066,211	125,891,742	2,174,469	1.70%

※住民基本台帳に基づく平成28年1月1日現在の人口にて比較